

こども家庭庁の設置を見据えた今年度の県の取組

こども家庭庁（令和5年4月1日設置）

体制と主な業務

内閣府特命担当大臣、こども家庭庁長官の下に
内部部局として以下の3部門

1 企画立案・総合調整部門

- こどもの視点に立った政策の企画立案・総合調整
- 必要な支援を必要な人に届けるための情報発信
や広報 等

2 成育部門

- 妊娠・出産の支援、就学前の子育て支援
- こどもの居場所づくりによる孤独・孤立対策 等

3 支援部門

- 縦割りや年齢の壁を克服した切れ目のない
包括的支援
- こどもの貧困対策、ひとり親家庭の支援 等

県の取組

1 組織の改組・拡充

- (1) こども家庭室の新設
妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を
行う「成育部門」と様々な困難を抱える子どもや家
庭への支援を行う「支援部門」を一元化した組織と
し、母子保健業務（健康課）やDV対策（知事政策局
働き方改革・女性活躍推進室）を移管
- (2) こども未来プロジェクトチームの設置
子ども施策の司令塔として、部局横断的な施策の
企画立案・総合調整や施策の推進を担う。
○メンバー：統括担当（こども家庭支援監）、
11室課23名で構成

2 令和4年度主な新規・拡充事業等

- とやま子育てイメージアップ事業
- こどもの貧困及びヤングケアラーに関する実態
調査
- 児童相談所等機能強化基本計画策定
- こども政策モニター事業（サンドボックス予算）
…等

物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策(令和4年10月28日閣議決定)

「新しい資本主義」の加速

◆ 少子化対策、こども・子育て世代への支援

・妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援(妊娠届出時・出生届出時を通じて計10万円相当)を一体として実施する事業の創設、継続的な実施 等

国民の安全・安心の確保

「こどもの安心・安全対策支援パッケージ」の推進(送迎用バスの安全装置改修支援等)



国第2次補正予算案成立(令和4年12月2日)



県11月補正予算(追加提案)令和4年12月6日

こども、子育て世代への支援

① 出産・子育て応援交付金事業(6億7,198万円)

妊婦や低年齢期の子育て家庭に寄り添うため、妊娠届出時から、妊婦や子育て家庭に対し、伴走型相談支援の充実を図るとともに、出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援(計10万円相当)を実施 (実施主体)市町村 (補助率)国2/3、県1/6、市町村1/6

② こどもの送迎バス等の安全対策事業(7,070万円)

こどもの送迎バス等における安全対策として、安全装置等を導入するとともに、安全管理マニュアルの適切な運用のための研修会を実施

(対象)私立幼稚園、私立小・中学校、公立小・中学校、認可外保育施設、特別支援学校、障害児通園施設